



き ざ き

<http://www.kisho.city-niigata.ed.jp/>

2019年9月20日



2019年度 第5号

冷静さを取り戻す「6秒」

校長 増井 一久

8月29日、35日間の夏休みを終え、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。休み中は子どもたちに大きな事故等なく過ごせたことを喜んでおります。久しぶりに会った子どもたち、どの子も体が大きくなったり、顔が少しお兄さんお姉さんになったりしたように思います。改めて子どもの成長は早いものだと実感しました。

また、保護者の皆様にはご多用の中、そして、とても暑い中、個別懇談会にお越しいただきありがとうございました。お子さんの成長、これから対応等を学級担任と保護者様とで共有しあうことができました。今後とも当校の教育活動にご理解とご協力を願いいたします。なお、夏休み開始と共に始まった校舎内の工事のため、ほこりや工事音の中での懇談となってしまいましたこと、この場をお借りしお詫び申し上げます。

さて、この夏休み後半、車を運転する人の中に前や後ろを走る車の邪魔をする「煽り運転」のニュースが毎日のようにテレビで放送されました。何度も放送されるテレビの映像を見る度に、「こわいなあ」、「どうしてあんなに興奮するんだろう」と思いました。私自身、自分の通りにならない時、気持ちがイライラしてしまうことがあります。その時、相手に、乱暴な言葉や、暴力で仕返しすると、今度はこちらが悪者になってしまいます。そうならないための何か良い対策はないかなと思い少し調べてみました。いろいろな方法があるようです。本稿では一つだけ紹介します。それに費やす時間は「6秒」です。ここでは「イライラを抑える6秒」とネーミングすることにします。イライラや怒りを感じた時、6秒間何も考えない、または別のことを考えることができるとクールダウンし、落ち着きや冷静さを取り戻すことができるそうです。気持ちが落ち着いていれば、「ついカッとなつてやつてしまいました。」とはなりません。このことを夏休み明けの全校朝会で子どもたちに話しました。このお話は子どもたちに落ち着いた対応、冷静な対応ができる人になってほしいとの願いであり、まわりの人から何かいやなことをされたと感じた時、困った時に「がまんをしなさい」ということではないこと、そして、困ったことがあった時は、お家の大人、友達、先生など、「相談しやすい人に伝えてほしい」ということもお願いとして付け加えました。

朝会後、子どもたちから、「校長先生は前に『自分を励ます1秒』と言ってたよ。今度は『イライラを抑える6秒』だね。」と声を掛けられました。木崎小学校の子どもたちは話をよく聞き、そのことをきちんと覚えてくれていることに嬉しくなりました。

学校評価中間報告

「保護者意識調査」にご協力いただきありがとうございました。4月からの教育活動を振り返りました。その結果をお知らせします。

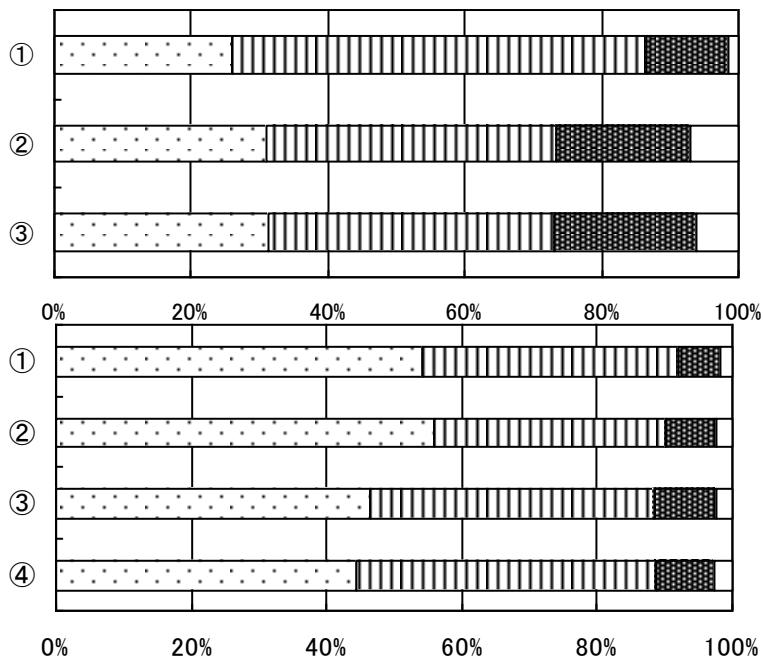
1【学力の向上】友達とかかわりながら学びを深め、振り返りで論理的に表現することについて重点的に取り組んでいます。

グラフの見方 そう思う まあそう思う あまり思わない そう思わない

「そう思う」と「まあそう思う」を肯定的評価として捉えています。

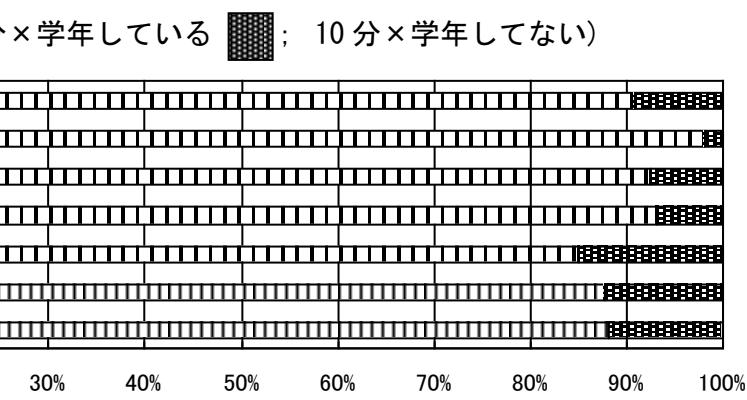
<保護者意識調査>

項目	肯定的評価の割合
① 学校の勉強の内容が分かっていませんか。	86.6%
② 「10分×学年」の家庭学習をしていますか。	73.2%
③ 全校テスト(国語、算数)に向けて練習していますか。	73.1%



<子どもアンケート>

項目	肯定的評価の割合
① 国語の勉強は、分かりますか。	92.2%
② 算数の勉強は、分かりますか。	90.2%
③ 授業中、論理的に考え表現するためのスキルを使って、学習内容がよく分かったと感じていますか。	88.6%
④ 「振り返り」では、学習して分かったことや大事だと思うこと、次の学習でやってみたいことなどを順序よく書いていますか。	88.8%



<今後に向けて>

木崎小学校では、「論理的な表現ができる子ども」を目指して、課題を解決するために友達とかかわりながら考えを深め、振り返りで何を学んだか論理的に表現できるように取り組んでいます。

その結果、「学習内容が分かっている」に対する結果評価では、保護者の評価で86.6%，児童の評価で国語92.2%，算数90.2%と、高い評価が得られました。

今年度の目標としている「論理的な表現」については、学年に応じた『学びのスキル』を各教室に掲示し授業に取り入れ、論理的な表現を通して学びが深まる指導の工夫をしています。その結果、学びのスキルを使うことで学習内容がよく分かったと感じる児童が88.6%，振り返りで分かったことや大事なことを順序よく書いている児童が88.8%と、学びを深め、振り返りで表現できる児童が多くいました。今後も授業を通して学習したことを論理的に表現できるよう、指導を工夫していきます。

家庭での学習時間は「学年×10分」を目指して指導しています。全校では、90.8%の児童が学年×10分以上の学習を行っていると評価しています。昨年度より4.4%上がり、90%を超えるました。家庭学習の習慣が身に付くよう、毎日帰りの会の10分間を「ステップアップタイム」として、全校で家庭学習の計画を自分で立てて家庭に帰ってからスムーズに学習できるように働き掛けられています。自分で計画を立てて家庭学習に取り組める力を身に付けられるよう、これからも指導を続けていきます。2~6年生には、年度初めに家庭学習のヒントを載せた『ステップアップガイド』をお配りしています。家庭学習のヒントにお役立てください。(1年生には、後日配付予定)

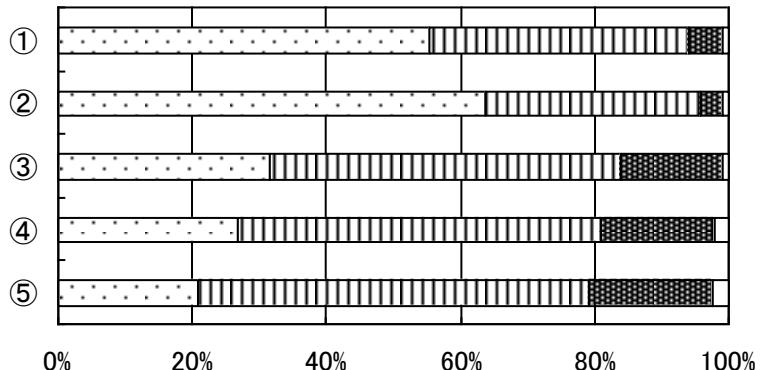
昨年度1.2年生のみ行っていた「全校テスト」は、一昨年度の取組同様、全校で行う形式に戻しました。基礎基本の定着を目指して、全校体制で継続して取り組んでいきます。

2【豊かな心】木崎小の合い言葉「時間を守ります・元気にあいさつします・静かに聞きます」等生活目標の徹底と、よりよい人間関係づくりに重点的に取り組んでいます。

グラフの見方 そう思う まあそう思う あまり思わない そう思わない
「そう思う」と「まあそう思う」を肯定的評価として捉えています。

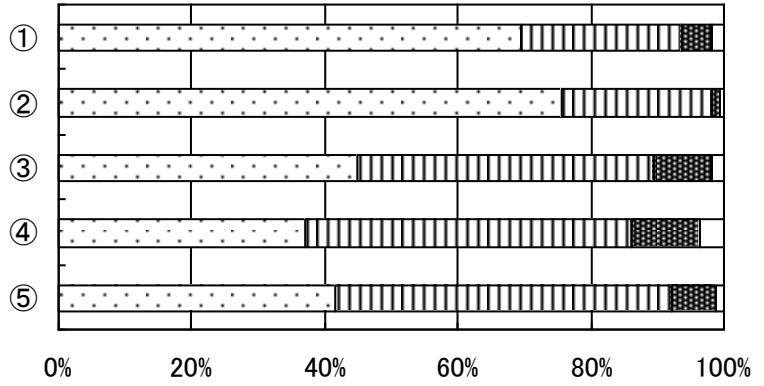
<保護者意識調査>

項目	肯定的評価の割合
① 学校に行くのが楽しそうである。	94.1%
② 学校に仲のよい友達がいる。	95.9%
③ 家族や地域の方にあいさつをしている。	83.8%
④ きまりや約束を守っている。	81.0%
⑤ 周りの人のことも考えて行動している。	79.3%



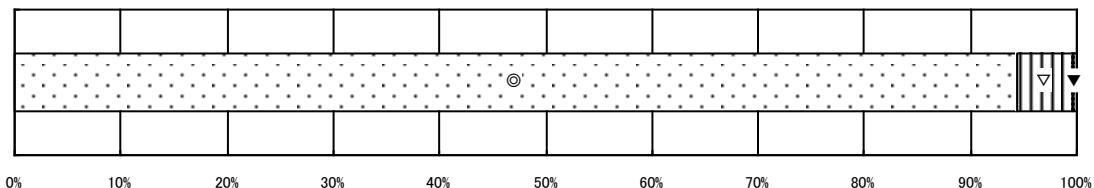
<子どもアンケート>

項目	肯定的評価の割合
① 学校は楽しいですか。	93.8%
② 学校に仲のよい友達がいますか。	98.1%
③ 学級会で自分たちのことについて考え、解決しようと話し合っていますか。	89.5%
④ 自分にはよいところがあると思いますか。	86.1%
⑤ 自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動していますか。	92.2%



○ いじめの有無 (: ない : あった : 受けている)

	評価の割合
ない	94.3%
あった	5.4%
受けている	0.3%



<今後に向けて>

「学校が楽しい」については、児童が93.8%（平成30年度92.8%）、保護者が94.1%（平成30年度94.4%）の肯定的評価をしています。「仲のよい友達がいる」の肯定的評価は、児童が98.1%（平成30年度96.4%）、保護者が95.9%（平成30年度95.8%）と高い割合です。学校生活が充実している様子が数値から読み取れます。

「あいさつ」については、保護者の肯定的評価が83.8%（平成30年度86.0%）と、少し下がっていますが、家庭・地域でも「あいさつ」が身に付いていることがうかがえます。引き続き、家庭・地域・学校が連携・協力して取り組んでいければと思います。

「学級会で自分たちのことについて考え、解決しようと話し合っていますか」については、児童の肯定的評価が89.5%（平成30年度86.2%）でした。今後は、自分の学級の課題について考え、話し合いを通して解決することで、よりよい人間関係づくりや自己有用感を高める指導を進めていきます。

「自分にはよいところがあると思いますか」については、児童の肯定的評価が86.1%（平成30年度85.9%）でした。自己肯定感（自信）は、学習面でも生活面でも重要な要素です。学校では、様々な場面で子どもを褒め、認める指導を行っています。今後もさらに自己肯定感（自信）を高める指導を実施していきます。

「周りの人のことも考えて行動している」の肯定的評価は、児童が92.2%（平成30年度91.7%、平成29年度92.4%、平成28年度89.4%）、保護者が79.3%（平成30年度77.2%、平成29年度79.9%、平成28年度77.5%）で、昨年度よりも少し上がっており、思いやりの心を育てる 것을目標に指導している成果が表れています。

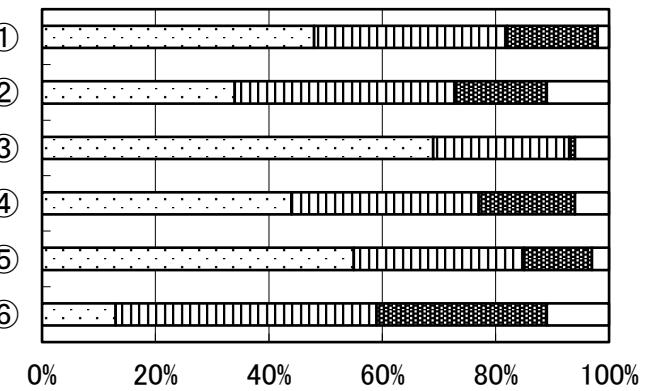
「いじめがあった・受けている」とする保護者は、5.7%でした。児童から事実を確認し、保護者と連携して指導に当たっていきます。

3 【健やかな体】 食育の充実や生活習慣の改善、体力の向上について重点的に取り組んでいます。

グラフの見方 そう思う まあそう思う あまり思わない そう思わない
 「そう思う」と「まあそう思う」を肯定的評価として捉えています。

<保護者意識調査>

項目	肯定的評価の割合
①進んで体を動かして遊んだり運動したりしていますか。	81.8%
②家で好き嫌いせず食べていますか。	72.0%
③毎日主食、主菜、副菜を食べていますか。	93.5%
④登校の1時間前までに起床していますか。	73.1%
⑤朝晩、歯みがきをしていますか。	84.9%
⑥平日のテレビやゲームの時間は、どれくらいですか。 (1時間以内～2時間の範囲)	58.9%



⑤は、 1時間以内 1～2時間 2～3時間 3時間以上

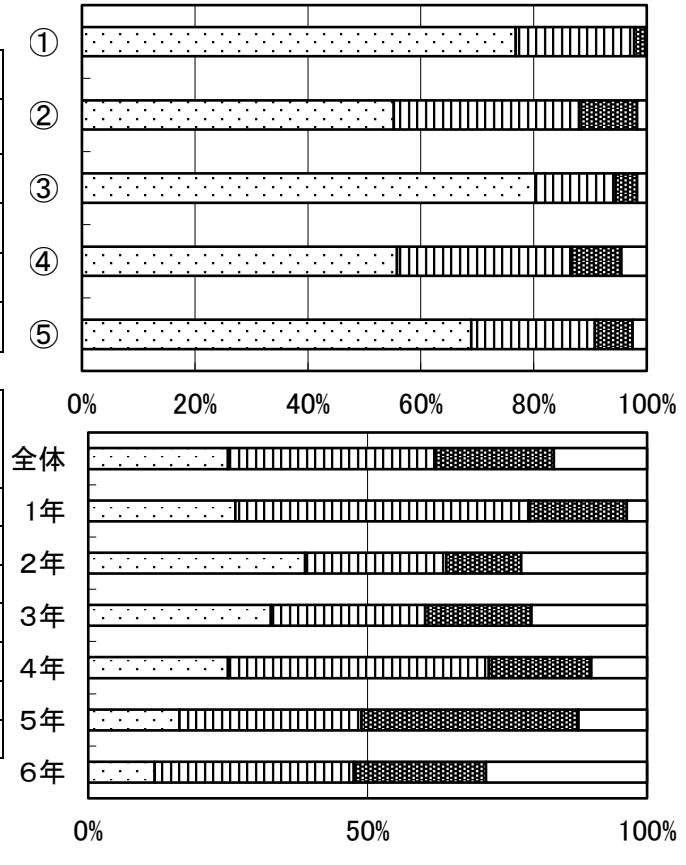
<子どもアンケート>

項目	肯定的評価の割合
①体を動かして遊んだり運動したりすることは楽しい。	96.9%
②給食は好き嫌いせず、残さず食べている。	88.1%
③朝食は、主食、主菜、副菜を食べている。	94.4%
④家を出る1時間前に起きている。	86.7%
⑤毎晩、歯磨きをしている。	90.8%

⑥ 各学年における平日のテレビやゲームの時間

学年	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全体	25.0%	37.2%	21.1%	16.7%
1年	26.3%	52.6%	17.5%	3.6%
2年	38.8%	25.3%	13.4%	22.5%
3年	32.7%	27.6%	19.0%	20.7%
4年	25.0%	46.7%	18.3%	10.0%
5年	16.3%	32.6%	38.8%	12.3%
6年	11.9%	35.6%	23.7%	28.8%

⑤は、 1時間以内 1～2時間 2～3時間 3時間以上



0% 50% 100%

<今後に向けて>

食事の好き嫌いに関する項目では、肯定的な評価をした児童が88.1%，保護者が72.0%でした。児童は、平成30年度(86.7%)、平成29年度(90.1%)と肯定的評価が続いています。給食では苦手な物も頑張って食べている様子がうかがえます。

起床に関する事項では、肯定的な評価をした児童が86.7%，児童は、平成30年度と比較して、4.1ポイント、平成29年と比較して7.3ポイント増加しています。早起きが習慣化してきました。

今後も、きざキッズすこやか週間の取組を通して、学校でも家でも好き嫌いなく食べることや家を出る1時間前に起きることをより一層保護者と協力しながら定着化を図っていきたいと思います。

運動の楽しさに関する事項では、肯定的な評価をした児童が96.9%と高評価でした。これからも体育の時間に様々な運動を取り入れ、運動の楽しさを感じることができるように努めていきたいと思います。